

かるまい

平成26年11月5日 No. 199



議会だより



吹奏楽コンクール県大会連続出場！

主な内容

- | | |
|------------------------|---------|
| 1 第33回（平成26年9月）定例会 | |
| 25年度一般会計決算を不認定決議 | … 2～3 |
| 本定例会で決まったこと | … 4～6 |
| 2 臨時会（31回、32回、34回）の結果 | … 7 |
| 3 25年度一般会計決算等審査特別委員会 | … 8～9 |
| 4 議員定数は現14議席を維持（委員会報告） | … 10～12 |
| 5 第33回定例会一般質問 | … 13～21 |
| 6 議会の動き、トピックス | … 22～23 |
| 7 軽米の風景⑩『長倉大橋からの紅葉』 | … 24 |

軽米秋まつりの中目のお楽しみ「軽米音頭流し踊り」の先頭で、ひと際沿道の観客を魅了する“軽小金管バンド”。昨年、今年と全日本吹奏楽コンクール岩手県大会に連続出場した腕前を、堂々と披露していました。

（写真は、9月14日の軽米秋まつりでの軽米小学校マーチングバンドの皆さん）

25年度一般会計決算は不認定

町議員定数は現14議席を維持

第33回（平成26年9月）定例会は、9月2日から12日までの11日間の会期で開かれまし
た。平成25年度一般会計歳入歳出決算を不認
定とし、これ以外の全議案は可決又は認定。
人事案件2件はそれぞれ同意と、適任の答申
をしたほか、請願2件の採択と、議員発議に
よる意見書の提出5件を全会一致で可決しま
した。また本年6月定例会において設置した
軽米町議会議員の定数等調査特別委員会から
報告された現在の定数を維持することについ
て賛成多数で可決し、閉会しました。

固定資産評価審査 委員の選任に同意

【同意案第1号】 固定
資産評価審査委員会の
委員の選任に関し同意
を求めることについ
て、全員賛成で同意し
ました。

＊住所 軽米町大字蛇
口2―31―2

＊氏名 川口幸雄
＊再任

〔全員賛成で同意〕

人権擁護委員の 推薦に適任答申

【諮問第1号】 人権擁
護委員の推薦に関し意
見を求めることについ
て、「適任」と答申し
ました。

＊住所 軽米町大字山
内32―29―5
（新井田）

＊氏名 笹山結実男
＊再任

〔全員賛成で可決〕

条例の新設

【議案第1号】「軽米
町地域型保育事業の設
備及び運営に関する基
準を定める条例」の設
置について、決定しま
した。（子ども・子育て
支援法等の施行に伴
い、家庭的保育事業や
小規模保育事業など町
の認可基準となる保育
事業の設備及び運営に
関し定める内容です）

〔賛成多数で可決〕

【議案第2号】「軽米
町特定教育・保育施設
及び特定地域型保育事
業の運営に関する基準
を定める条例」の設置
について決定しまし
た。（子ども・子育て
支援法等の施行に伴
い、利用定員など町の
特定教育・保育施設の
運営などに関するの基
準を定める内容です）

〔賛成多数で可決〕

主な補正予算の内容

一般会計補正予算（第4号）

【歳入】

- ・普通交付税（地方交付税△3,335万円）
- ・地域経営推進費（県補助金327万円）
- ・放課後児童健全育成支援事業費補助金（県補助金128万円）
- ・次世代自動車インフラ整備事業補助金（雑入175万円）

【歳出】

- ・軽米町地域活動支援事業費補助金（企画費200万円）
- ・小型除雪機購入費（企画費296万円）
- ・晴山地区保育施設用備品購入（児童福祉施設費2,000万円）
- ・庁舎電気自動車（EV）用充電設備設置工事（環境衛生費529万円）

【議案第3号】「軽米
町放課後児童健全育成
事業の設備及び運営に
関する基準を定める条
例」の設置について、
決定しました。（子ど
も・子育て支援法等の
施行に伴い、放課後児
童クラブの運営などに
関し基準を定める内容
です）

〔賛成多数で可決〕

条例の改正

【議案第4号】「軽米

町税条例」の一部を改
正しました。（地方税
法の一部改正に伴い軽
自動車税の小型特殊自
動車のうち農耕作業用
を2千400円に、そ
の他のものを5千90
0円とするものです）
＊平成27年4月1日か
ら

〔賛成多数で可決〕

【議案第5号】「軽米
町ひとり親家庭医療費
給付条例」の一部を改
正しました。（母子及

び寡婦福祉法並びに中
国残留邦人等の円滑な
帰国の促進及び永住帰
国後の自立の支援に関
する法律の一部改正に
伴い、文言等の改正を
行う内容です）

〔全員賛成で可決〕

【議案第6号】「軽米
町寡婦等医療費給付条
例」の一部を改正しま
した。（母子及び寡婦
福祉法の一部改正に伴
い、文言等の改正を行
う内容です）

〔全員賛成で可決〕

【議案第7号】「軽米
町国民健康保険条例」
の一部を改正しまし
た。（健康保険法施行
令の一部改正に伴い、
出産育児一時金の支給
額について、一時金を
40万4千円に、加算額
の上限を1万6千円に
改正する内容です）

〔全員賛成で可決〕

25決算の認定

【議案第8号】平成25
年度軽米町一般会計歳
入歳出決算を不認定と
しました。

〔賛成少数で不認定〕

【議案第9号】平成25
年度軽米町国民健康保
険特別会計事業勘定歳
入歳出決算を認定しま
した。

〔賛成多数で認定〕

【議案第10号】平成25
年度軽米町後期高齢者
医療特別会計歳入歳出
決算を認定しました。

〔全員賛成で認定〕

【議案第11号】平成25
年度軽米町介護保険特
別会計歳入歳出決算を
認定しました。

〔全員賛成で認定〕

【議案第12号】平成25
年度軽米町下水道事業
特別会計歳入歳出決算
を認定しました。

〔全員賛成で認定〕

平成26年度会計別歳入歳出予算

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計	3790万円	77億 10万円
特別会計	国民健康保険	4400万円 14億 2700万円
	下水道事業	324万円 1億 1724万円
	介護保険	― 7440万円
	後期高齢者	― 8350万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

9月定例会関連の日程

月日	曜	内 容
8月26日	火	議会運営委員会
9月2日	火	本会議招集日 （議案の提案、審査の付託、人事案件決議）
3日	水	（休会）
4日	木	一般質問（4人）、議会運営委員会
5日	金	一般質問（4人）、議会運営委員会
6日	土	（休会）
7日	日	（休会）
8日	月	総務教育民生常任委員会、 決算等審査特別委員会、議会運営委員会
9日	火	決算等審査特別委員会
10日	水	決算等審査特別委員会
11日	木	決算等審査特別委員会、議会運営委員会
12日	金	最終本会議 （議案・請願・意見書の採決）

3 臨時会の結果報告

第31回臨時会

(平成26年7月15日開催)

補正予算

【議案第13号】 平成25年度軽米町水道事業会計決算を認定しました

〔全員賛成で認定〕

【議案第14号】 平成26年度軽米町一般会計補正予算(第4号)で、歳入歳出とも3790万4千円を増額補正しました。第32回臨時会での補正と合わせた総額は77億10万9千円となりました。

〔全員賛成で可決〕

【議案第15号】 平成26年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)で、歳入歳出とも4400万円を増額補正し、総額は14億2700万円となりました。

〔全員賛成で可決〕

【議案第16号】 平成26

除雪機械2件と小中学校用パソコンの購入契約を可決

財産取得

機器一式、取得価格3499万2千円

〔全員賛成で可決〕



画面に触れて操作するタブレット型パソコンが軽米小と小軽米小に整備されました。

第32回臨時会

(平成26年7月31日開催)

請願・陳情

〔全員賛成で可決〕

年度軽米町下水道事業特別会計補正予算(第1号)で、歳入歳出とも324万5千円を増額補正し、総額は1億1724万5千円となりました。

意見書提出

発議案第1号から5号までの全5件について

付金」の継続を求める請願」と「消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願書」の2件を総務教育民生常任委員会に付託し、本会議においてすべて採択しました。(詳細は左欄参照)

※ 請願陳情の内容と採択結果 ※

- 【請願陳情第25号】 全員賛成で採択
「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続を求める請願について
(請願者) 岩手県教職員組合
中央執行委員長 砂金良昭ほか
(紹介議員) 山本幸男議員
茶屋 隆議員
- 【請願陳情第26号】 全員賛成で採択
消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願書
(請願者) 消費税廃止岩手県各界連絡会
代表 藤沢光一
(紹介議員) 山本幸男議員
古舘機智男議員

※ 意見書の提出 ※

- 【発議案第1号】 全員賛成で可決
「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続に向けた意見書
(提出先) 文部科学大臣、財務大臣、復興大臣
- 【発議案第2号】 全員賛成で可決
消費税10%への増税の中止を求める意見書
(提出先) 内閣総理大臣
- 【発議案第3号】 全員賛成で可決
私学助成の充実を求める意見書
(提出先) 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長、岩手県知事
- 【発議案第4号】 全員賛成で可決
被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める意見書
(提出先) 岩手県知事ほか
- 【発議案第5号】 全員賛成で可決
被災者の医療費窓口負担の免除継続・復活を求める意見書
(提出先) 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣、復興大臣、衆議院議長、参議院議長

町議員の定数は現状維持で決定

本年6月定例会で設置された「軽米町議会議員の定数等調査特別委員会」において、協議し決定した内容について委員長報告が行われ、現状維持とする報告のとおり決定しました。(関連記事は10ページに掲載)

〔賛成多数で可決〕

軽米小旧校舍解体など工事契約5件と一般会計補正予算を可決

工事契約

【議案第1号】 町道軽米高家線道路改良舗装1号工事の請負契約の締結について、可決しました。

〔全員賛成で可決〕

【議案第2号】 軽米小

学校旧校舍等解体Ⅰ期工事の請負契約の締結について、可決しました。

〔全員賛成で可決〕

【議案第3号】 軽米小

学校旧校舍等解体Ⅱ期工事の請負契約の締結について、可決しました。

【議案第4号】 軽米小

学校屋外環境整備Ⅲ期工事の請負契約の締結について、可決しました。

【議案第5号】 ハートフルスポーツランド軽米町宮野球場(内外野)改修工事の請負契約の

補正予算

〔全員賛成で可決〕

【議案第6号】 平成26年度軽米町一般会計補正予算(第3号)で、歳入歳出ともに1182万6千円を増額補正し、総額は76億622

※※ 主な補正予算の内容 ※※

一般会計補正予算(第3号)

- 【歳入】
- ・過疎地域等自立活性化推進補助金(国庫補助金1,000万円)
- 【歳出】
- ・創年のたまり場推進協議会補助金(企画費1,000万円)

第34回臨時会

(平成26年10月8日開催)

工事契約

ハートフル球場揭示板改修工事契約を可決

【議案第1号】 ハートフルスポーツランド軽米町宮野球場スコアボード改修工事の請負契約の締結について、可決しました。

〔全員賛成で可決〕



全灯LED電球化されるスコアボード(写真は改修前)

町補助金執行への疑問と決算書を修正 25年度一般会計決算に反対意見が多数

9月2日の本会議で提案された議案16件について、内容を審査するため平成25年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会（泉山優委員長）を設置し、付託審査を行いました。委員会における各議員からの質問と町当局の答弁内容について、概要をお知らせします。

←議案第1～3号関連

【質問】子ども・子育て支援法の内容は。

（健康福祉課長）主に3つの課題解決に向けたものとなっている。①所管が内閣府に一本化され施設も「認定子ども園」を奨励。また保育園入所の際の条件が一部緩和される。②地域ニーズへ対応し、

放課後児童クラブなど充実。③待機児童の解消のための受け入れ体制充実と財政支援。

【質問】家庭的小規模事業の家庭的保育者の「乳児3人までは保育者1人」の基準を更に充実させては。

（健康福祉課長）国基準での対応とした。実施の際は考慮したい。

←議案第4号関連

【質問】町税条例の一部改正について、改正しない場合町に対しての罰則規定があるか。

（税務会計課長）特にないが、他の軽自動車税との負担水準の適正

や均衡を図る観点から改正するものである。

【質問】公的な差し押さえ等々、回収した部分の件数・金額は。

（税務会計課長）差し押さえ件数は、預金が1件12万9千円、還付金が80万円弱、42件。

←議案第7号関連

【質問】出産費用の平均負担額はいくらか。

（町民生活課長）平成24年度の全国平均で41万7千円。うち公的医療機関では40万6千円となっている。

←議案第8号関連

【質問】平成25年度一般会計決算書で、災害

復旧費県補助金が当初予算がゼロで、補正予算が2075万1千円計上されているが、最終的に調定額、収入済み額ともゼロである。備考欄にも説明がない。決算書は一般町民にもわかりやすくする義務があるのでは。

（総務課長）26年度に

繰り越しをしたものだが、備考欄に説明が無く申し訳ない。訂正させていたいただきたい。

【質問】財政状況について数値的には問題ないように見られるが、実際の状態、将来についての考えは。

委員長報告



泉山 優

平成25年度
一般会計決算等
審査特別委員会
委員長
9月12日本会議場
での委員長報告から

第33回軽米町議定例会において、平成25年度一般会計決算等審査特別委員会に付託された案件について、結果と経過を報告します。本特別委員会は、9月8日から11日までの4日間、慎重審査し、全議案とも活発な質疑があった。

子ども・子育て支援関連では、多様化する町内の保育ニーズには調査結果をもとに今後対応していきたいとの町の説明に、一人で3人の子どもを見る国の基準は不可能ではないか、軽自動車税の値上げは町民に影響があるのではないかと、この意見があった。

決算の認定について、一般会計決算において平成26年度への繰越明許費などの説明が不十分として、一般会計の決算書の備考欄など3カ所の修正がなされたほか、農林水産業費では二ホンジカの食害の問題、商工費では町物産館交流館の土日営業について提案があった。軽米町協働企画地域チャレンジ事業支援金について、補助金交付の取扱いが不適切ではないかと指摘があった。土木費では、赤線青線の管理についてほか、雪谷川ダムの泥の処理、住宅リフォーム制度についての質疑があった。

国保会計決算については、危機的な状況にある国保財政についてや、短期保険証についての質疑があった。平成26年度一般会計補正予算では、ふるさと納税への謝礼を町の特産品ギフトセットなどで充実させていくなどの町の回答があったほか、再生可能エネルギー関連にも多くの質疑があった。採決結果について申した議案で、議案第1号から4号までは賛成多数で可決、議案第8号は賛成少数で不認定、議案第9号は賛成多数で認定、議案第5号から7号、14号から16号は全会一致で可決した。また議案第10号から13号は全会一致で認定と決した。以上、報告する。

（町長）問題が無くはないが最悪の状態は脱したと思う。今後は施設の老朽化、福祉対策などの優先度を定め対応していきたい。

【質問】職員研修参加負担金について、研修の中身は。

（総務課長）市町村アカデミーや専門研修などに86人、全職員の60%以上が参加。ほかに軽邑まちづくり塾、外部講師による研修等を実施している。

【質問】地域総合支援センター・ボランティア事業の相談実績等は。

（健康福祉課長）町社会福祉協議会に専任職員1名を配置し相談、申請代行等を実施。相談数は地域包括支援センターの半数を担う。

【質問】直接支払制度がなくなると農業を辞めるなどの声を聞く。

集落営農の組織の状況と見込みは。

（産業振興課長）現在は無い。現状は畑作が主体で集落営農に結びつかない。集落で話し合い、今後について意見を聞かせてほしい。

【質問】道路の赤線・青線の管理は。

（地域整備課長）国から町に移管（譲渡）されたもので、基本的には使用する方をお願いしている。

【質問】火災報知機の設置状況と婦人消防協力隊の考え方は。

（総務課長）24年度で8割が設置済み。婦人協力隊に限らず地域での消防防災への協力体制、自主防災組織などの検討したい。

【質問】全国学力調査の結果と公表は。

（教育長）調査目的や公表による弊害を考慮

し公表は控えるが、全体的に小・中ともに努力しており更に数値指導に改善を図りたい。

←議案第13号関連

【質問】水道管の老朽化について40年以上のものがあ

（水道事業所）石綿セメント管は40年以上経過し町内はほぼ更新した。観音林と山内は約40%が石綿管で今後、更新計画を立てたい。

←総括質疑

【質問】地域創造チャレンジ事業補助金が当初予算50万円で決算額は70万円。補助金を流用することはおかしく補正すべきでないか。

（総務課）事業内容は審議会で審査し地域活性化事業として同内容の補助金の枠内で節内の流用し交付決定した。（町長）手続き上は問題ないと思っている。

議員定数は現 14 議席を維持

賛否拮抗し 8 名が 活発な討論を展開

本会議場での討論の内容は、
12 ページに掲載しています

議員定数等調査特別委員会に関する
これまでの経過

6月12日	第1回委員会 (正副委員長選任、幹事の選任等)
6月18日	第1回幹事会 (内容協議、次回委員会の開催日等)
7月2日	第2回委員会 内容協議 (定数、講演会、視察等)
7月15日	第2回幹事会 内容協議 (講演会、視察等)
7月31日	第3回幹事会 内容協議 (講演会、視察等)
8月12日	第3回委員会 勉強会 テーマ:「議会の活性化について」 講師: 県町村議会議長会事務局長
8月25日	第4回幹事会 (意見集約、次回委員会開催日等)
9月2日	第4回委員会 (とりまとめについて等)
9月12日	9月定例会最終本会議で委員長報告

平成26年

最終本会議で行われた委員長報告に対する討論には、反対討論4名、賛成討論4名の計8名が登壇しました。(発言要旨は12ページに掲載)

反対討論では、「人口減等を勘案し身の丈にあった人数にすべき」や「経費削減に議員自ら身を切るべき」など定数削減を求める議員に対し、「削減により町民の声が届きにくくなる恐れがある」、「町長の大きな権限に

軽米町議会議員の定数等調査特別委員会 委員長報告



館坂 久人
委員長

軽米町議会議員の定数等調査特別委員会報告書より抜粋

本特別委員会は町議会の議員定数等について調査研究し、今後の議員定数等のあり方を検討することを目的に、6月の第30回定例会において設置された。同日、第1回委員会を開催して以来これまで終始活発な議論がなされてきた。

「化」と題した議員勉強会を開催した。

第3回委員会では意見の取りまとめに入り、①減らすのであれば(周知期間等を考慮し)9月定例会で決めるべき、②議論がまだ足りない、③定数削減とともに報酬の見直しを、④町民と一緒に考える機会を、⑤町民との意見交換を、⑥町民の声を反映させるため現在定数が良い、などの意見が出された。

第2回委員会では他町村の状況視察や、住民公聴会開催の是非、定数減の場合の懸念されること、議会としての勉強会開催を、などの意見が出された。こうした意見を受けて同幹事会で検討し、岩手県町村議会議長会の事務局長に講話を依頼。8月12日に「議会の活性化

対して議会の機能を低下させてはならない」などの現在定数維持に賛成する議員とで、町議会を二分する熱意あふれる討論が交錯しました。

起立採決では、賛成議員7名により多数決で委員長報告を可決。現在定数の14名とすることを決定しました。

町議会議員の定数は、平成23年4月の任期満了に伴う選挙の際に、それまでの16人から2人削減し、現在の14人となっています。

適用年	定数
昭和30年 (町村合併時)	26人
昭和42年	20人
平成11年	18人
平成19年	16人
平成23年	14人
平成27年	14人

軽米町議会の議員定数推移

「議会の活性化」勉強会

わが町議会の将来を考える

定数等調査特別委員会は3回目の委員会となった8月12日、「議会の活性化について」をテーマに勉強会を開催しました。県町村議会議長の米田武美事務局長を講師に、議員定数の考え方や今後の町村議会のあり方などについて理解を深めました。発言要旨と質疑を紹介します。



講師
岩手県町村議会議長会事務局長
米田 武美 氏

テーマは「議会の活性化」についてだが、一般的に地方議会は今後どうあるべきかを考えたい。

議員定数についてはこれまでも十分議論されていると思うが、簡単なようで結論が出ない問題。減か、増か、現状維持か。みんなそれぞれの思いがある。決定的な杓子定規は無く、難しい課題である。私の考えとしては、議員の数をどの程度にするかは、議会の構成と運営上の根本的な問題であり、軽米町議会としての役割を果たすためにはこのくらいの議員が必要だと判断をつけることが望ましいが、非常に難しいことでもある。町議会がその役割を果たすためには、どこに重点を置いて議会運営をしたら良いのか、定数や報酬を含めた見直しに加え円滑な議員活動のための条件的な整備も必要である。もはやボランティア的にやれば良いという時代ではない。条件的なこともしっかりと考えながら、町民に理解されながらやっていくことが大切と考える。

(答) 県内町村では紫波町のみで実施している。必要なものは条件整備を行い住民にも説明し、議員活動をきちんとやれる態勢にもっていくことが必要だと考える。

【質問】 地方議員の位置づけの明確化について地方自治法の改正等の今後は？

(答) 県、市、町村議長会で要望はしているが進んでいないのが現実。国・官僚とは地方議会に対する認識にずれがあると感じる。将来的な可能性はあり今後も継続して要望していく。

【質問】 定数に関連して議員自らのプロ化、レベルアップを図ることが必要と考えるが？

(答) より専門化していけば定数は少数でも可能ではあるかもしれないが、議員としての役割、町民が期待していることは何かを考え、その上でわが町の議員としての在り方を議論していくべき。

「議会の活性化」についての質問を紹介します

【質問】 町民アンケート調査などの必要性も感じるが、今の段階で9月定例会までに議論、結論を出すことについてどう考えるか？

(答) 時間的な制約はあると思うが、定数や報酬に関して住民に議会の考えを伝え、住民から意見を出してもらう意見交換を行うことは必要であると思う。

【質問】 議会基本条例の県内の状況は？

(答) 県内では西和賀町を皮切りに、田野畑村、紫波町、雫石町で策定。取り組み中が矢巾町、田野町など。条例は住民に公開する点で議会基本条例を作ること自体に大きな意義がある。しかし、他のマネだけで実践が伴わないと意味が無い。軽米町に合ったもの、修正を加えながら時間をかけて作り上げていくことが重要。

【質問】 政務調査費の支出について？

18項目8人で広く町政質す

ただ

第33回 定例会 一般質問

第33回定例会の一般質問は、9月4日に4名が、翌5日には4名が行い、町政運営等について幅広い分野にわたり質問しました。

各議員の質問内容と山本賢一町長をはじめ町当局の回答・姿勢についてご紹介します。

なお、紙面の都合上、複数項目について質問した議員については主要テーマ（下記太字項目）について詳しく紹介するほか、質問要旨や回答内容は要約して掲載していますのであらかじめご了承ください。

質問議員	質問事項
前田 泰穂 議員	医療費助成制度について
	遊歩道の整備について
	教育委員会と農業員会の制度の見直しについて
松浦 満雄 議員	農業振興について
	次期町長選挙について
中村 光夫 議員	宿泊研修施設の整備について
	マイマイガ対策について
古舘機智男 議員	広島の土石流災害から何を学び、軽米にどう生かすか、また被災地支援はどうか
	日本創生会議が提起した消滅する可能性の高い自治体とされた我が町だが、町長の感想を伺う
細谷地多門 議員	町の交通安全対策について
	まちのPR、地域おこしについて
泉山 優 議員	再生可能エネルギー施設（鶏糞バイオマス発電とメガソーラー）について
	職員採用について
茶屋 隆 議員	ふるさと納税について
	第4次軽米町行政改革実施計画について
山本 幸男 議員	元気な町づくりについて
	町の活性化対策として古里再生を図ってはどうか
	固定資産未評価問題について

本会議場（9月12日）での討論を紹介します



山本 幸男
議員

現定数・報酬とも妥当

現定数14人は近隣町村ともバランスがとれており、これ以上減らしてはならない。報酬も他町村と比較しても下位のほうで当面適当と思う。削減で危惧されるのは多様な意見が少なくなること、新人の出馬が難しくなること。議会がこれ以上こじんまりとなると、権限が拡大する町長との均衡がとれなくなる。



中村 光夫
議員

議会の弱体化を懸念

定数削減は、①町長の権限が強大で議会が弱体化し民主主義の根幹に関わる町民の声が反映されにくくなる。②行政の監視・チェック機能が弱体化する。③議会が仲良しクラブ的な場になり極端には議会の不要論にもつながる。④優秀な新人議員が立候補しにくくなる。今後時間をかけて十分議論していくべき。



大村 税
議員

対等な立場を堅持する

二元代表制の地方自治体は執行機関と議決機関が対等の立場を堅持することが住民自治を守るために最も大事である。地方分権により今後さらに町長の執行権が増大する中、行政サービスが公正で公平で住民からの距離が遠くならないようにしていくべき。削減は議会機能の低下につながる恐れもあり、現状維持に賛成する。



古舘 機智男
議員

減は地方自治を弱体化

合併当時の26人が今は14人。定数削減は①地方自治の弱体化と、②住民の地方自治への参加を縮小し住民と議員とが遠くなる。③分権社会は自治体の権限が増える一方で議員定数を減らしたからといって優秀な新人議員が出るとは限らない。可否同数で現状維持とした委員長の判断は当然のこと。議論が深まっていないからこそ現状とすべき。

議論不足で拙速な結論

委員会での議論が足りなく拙速な進め方であり、内容が十分に議論・調査されていない。結論ありきの感がある。今任期の決意表明で議員定数の削減を一番に取り上げた。今でもその気持ちには変わりはない。町の人口が1万人を切るという状態にあり、私たち議員も削減するべきだと思う。



泉山 優
議員

削減し町改革も求める

本特別委員会の設置を議長に提案した。今回の委員長報告は町民の声が反映されたものではない。定数を削減しても工夫次第で議会の使命は果たすことが可能。行政をチェックし自ら提案をする機能を十分に発揮し、顔が見えて分かりやすい議会と議論が必要。議員定数を削減し、行政側に一層の行財政改革の取り組みを求めたい。



茶屋 隆
議員

目に見える議会改革を

特別委員会での議論が足りない。町民の意見を聞く機会もなく、理解が全く得られない。議会自らが身を削り、目に見える議会改革が不可欠だ。委員長裁定は、今回のケースでは条件が厳しい方を取るべきで、議会改革の姿勢が見られない。多くの町民から支持される議会を保つため、ぜひ我々自ら厳しい決断を示すべきと考える。



細谷地 多門
議員

削減し報酬の見直しも

多様な意見を反映させるには住民と町との協働参画事業や議会報告会等を定期開催することが重要。議員は能力向上を図り、活動に十分な時間を充てられる専業が理想で、削減した経費分を新議員を志せるよう報酬の引き上げも考えるべきではないか。議会改革のチャンスを見逃してはならない。定数は12人が妥当であると考えている。



松浦 満雄
議員

現在の定数（14人）のままとすることに賛成・反対

あなたはどちらの意見に賛成しますか？

定数の現状維持に賛成

定数の削減をすべき

委員長報告（現在定数を維持）に対する本会議上での表決結果（賛成：○、反対：×、欠席：欠）

議員名	前田泰穂	茶屋隆	大村税	中村光夫	上岩紀男	松浦満雄	本田秀一	細谷地多門	泉山優	川原木賢一	古舘機智男	山本幸男	館坂久人	賛成	反対	結果
議題名																
議員定数を現状のままとする報告	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	7	6	可決



前田泰穂 議員

問

答

町内児童生徒の医療費 町外診療科にも助成を

受診制度の緩和の実現をめざす
高校生の医療費も前向きに検討

【質問】①医療費助成制度の概要と申請手続きについて伺う。

②町内の小中学生が医療機関を受診した場合に町内医療機関は無料化した。当時二戸地区内の場合も検討するとのこと、その後の検討状況を伺う。

【町長】①町では平成7年8月1日から乳幼児・妊産婦の医療費助成、重度心身障害者・ひとり親家庭の医療費助成のほか、21年1月からは県内市町村に先駆けて児童生徒の医療費助成を実施している。給付方法は医療機

関窓口で全額支払った後、申請により自己負担額を除いた医療費が支払われる「償還払い」で、給付方法にはこの「償還払い」と医療機関窓口で支払う額が一定までとなる「現物給付」とがある。「現物給付」は、国が昭和59年度から現物給付を受ける国民健康保険の被保険者数が1%を超えた市町村への国庫負担金及び交付金を減額しており、県は当初、国庫負担金等の減額分の2分の1を助成し「現物給付」で支給してきたが厳しい財政状況に

より平成7年度から県下一斉に「償還払い」となった。

また「現物給付」の場合、国の減額措置に加え医療関係団体との調整や給付方法の切り替え経費などが新たに必要になってくる。

②今後も医療費助成を継続する考えだが、長期的な財源確保が必要であり、受診制度の緩和・拡充について他市町村の状況や問題点等を検討している状況である。将来を担う児童生徒の健康を守り家庭の経済的負担の軽減、子育て日本一の町づく

りをするためにも受診制度の緩和を早期に実現していきたい。

【再質問】児童生徒の医療費無料化は当町に診療科が無い部分も実施し、現物給付にすべきと思うがいかが。

【町長】町内の診療科目が無い場合の小中学生医療費助成について早急な実現に向けて検討したい。現物給付への変更は現状では難しいが、国庫負担金減額処置の撤廃などにつ

健康増進に遊歩道を整備してはどうか

そのほかの質問

健康増進に遊歩道を整備してはどうか

歩行者の安全確保も図りながら、関係部署で連携し遊歩道ガイドブックの作製などを検討していきたい。

教育委員会と農業委員会の変革について

平成27年度から現教育委員長と教育長を兼ねた新教育長が、又農業委員長もいずれも町長が議会の同意を得て任命することになる。

ことば解説

償還払いと現物支給
医療費助成制度には次の2方式がある。

①償還払い方式：医療機関窓口で自己負担を支払い、後日申請により助成される分の償還を受ける方法

②現物給付方式：医療機関窓口で自己負担を支払わなくてよい方法

町の医療費助成制度

町では次に該当する方に医療費助成を行っている。(④は全額、⑤は2分の1を自己負担額に充当して助成)

- ①児童生徒医療費
- ②乳幼児医療費
- ③妊産婦医療費
- ④ひとり親家庭医療費
- ⑤重度心身障害者医療費
- ⑥寡婦等医療費

【質問】軽米町過疎地域促進計画（H22、27）では中山間地域総合対策事業小軽米地区全体計画として水田の区画整理42鈔の測量試験が、事業主体を岩手県として計画されてい

るが、進捗が見られない。状況について伺う。

【町長】水田の区画整理事業は農業振興上、非常に重要であり、町ではこれまで高家地区、清水地区で県営事業を活用し区画整理事業などを実施してきた。小軽米地区の水田圃場整備については軽米地域自立促進計画のほか町農業農村整備事業管理計画にも計画され、町として重要な事業である。国の農業農村整備事業関係予算が平成22年度に大幅に削減され、県予算も非常

に厳しい状況にあり新規着工地区の採択が抑制される傾向にある。町としては受益者皆様のご理解をいただきながら早期の事業着工を目指すのでご理解ご協力をお願いしたい。

【産業振興課長】事業採択には、地元同意はもちろん高い農地集積や担い手など熟度と確度の高い地区が優先される。同地区の圃場整備には地域内の話し合いを進めることが最も効果的である。地域の皆さんの合意形成が図られるよう意向調査や集

落説明会を開催し早期に事業採択がされるよう努めて参りたい。区画整理事業の受益者負担金については、中山間地域の場合通常5%だが、農地経営高度化促進事業の活用により受益者負担の軽減を図って参りたい。

【再質問】計画される水田は小軽米地区農業のシンボリックな農地であり地区の宝でもある。この宝を磨き、近代化することで小軽米地区が活性すると考える。住民が話し合いをしながら行政とともに

【再々質問】ぜひ早期に地元説明会を開催したい。ご理解ご協力をお願いしたい。

ことば解説

水田圃場整備事業

既成の水田や畑をよりよい基盤条件をもつ農地に整備する土地改良事業で、安定し多収獲の農地（土地の生産性が高い）にし、農業機械が導入し易く、労働の生産性が高い圃場に整備するもの。具体的には区画の拡大・整形、分散農地の集団化、農道の整備、用・排水路の整備、土層改良、客土・床締め・暗きよ排水施工、土壌保全工事などがある。



町立小軽米小学校（写真右奥）周辺に広がる小軽米地区の水田圃場

問

答

小軽米地区の圃場整備 早期の着工で起爆剤に

国と県の予算が削減
受益者の理解と協力を
図り早期着工をめざす

そのほかの質問

次期町長選挙について

子育て日本一の町づくりを継続し、若い世代を雇用できるよう4期目を目指しながら頑張っていきたい。



松浦満雄 議員



中村光夫 議員

問

宿泊研修施設を活用し 観光・スポーツ振興を

答

宿泊者の誘客は町の活性化に重要
既存施設や閉校校舎の活用を検討

ことば解説

長寿命化計画の策定
国が平成25年11月にインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議でとりまとめた「インフラ長寿命化基本計画」に基づく計画。道路、橋りょう、上下水道などのインフラの老朽化が急速に進む中、今後のインフラの維持管理・更新の指針となるもので、国だけでなく地方公共団体においても基本計画の策定と計画に基づいた点検等を実施し適切な措置を講じることが求められている。県内自治体でも長寿命化計画の策定が進められている。

主要施策の中で施設整備を掲げ「観光客誘致の宿泊機能の充実」も計画している。24年度からは学校統合による空き校舎等の活用方法も検討しており、また本年4月には国から人口減なども踏まえた施設の更新、統廃合、長寿命化計画の策定が求められている。宿泊施設等の整備についてその重要性和優先度を検討し、既存の施設等の活用など総合的に検討していきたい。

【町長】学校統合による空き校舎で新しく活用可能なものもある。学生の研修所や合宿所といったものは今後も非常に有効だと考える。総合的な観点で検討していきたい。

【再々質問】空き校舎を有効活用するということはたいへん結構なことだと思う。今後ぜひ検討していくという

【質問】町の活性化には人の往来を多くし賑わい創出が必要と考える。フォリストパークやシバザクラ、各種スポーツ大会、秋祭りなどは多くの人で賑わうが、大部分が日帰りである。そこで宿泊研修施設を整備して受け入れ態勢を整えれば経済効果もあるのではないかと。学生等のクラブ合宿の招致で当町の競技力向上と底辺の拡大、スポーツの振興にもつながる。町の大自然を活用し体験学習等により都市との交流を拡大

【町長】宿泊研修施設による誘客で町の活性化を図ることは町づくりに重要である。現在、町の宿泊可能な施設は老朽化し、コテージなどは季節的な制約もあり、既存の利用状況についてソフト・ハード両面から実態調査・分析と課題への対策が必要。平成23年に策定した新軽米町総合発展計画・基本計画の

なものと一般の宿泊利用のほか、講座や教室を企画し需要を喚起してどうか。官で作って民で運営する方法を検討してみるのも方法ではないか。

【町長】学校統合による空き校舎で新しく活用可能なものもある。学生の研修所や合宿所といったものは今後も非常に有効だと考える。総合的な観点で検討していきたい。

【再々質問】空き校舎を有効活用するということはたいへん結構なことだと思う。今後ぜひ検討していくという



町青少年ホーム（萩田）は建築から40年以上が経過し老朽化で改修等が必要となっている

ことば解説

合計特殊出生率
15歳から49歳の女性の年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子供を産むかを表す。合計出生率ともいう。平成24年日本の合計特殊出生率は1.41で、人口の維持に必要な人口置換水準（約2.10）を下回り、少子化が進行していることを表す（数値は国立社会保障・人口問題研究所資料を参照）。

ハザードマップ
土砂災害や津波などについて被害の想定範囲や避難場所、避難経路などを示した地図。

当町の長い歴史を地元に住む若者に引き継いでいけるような持続可能な活力ある町とするため、一層積極的な施策を展開していきたい。

【再質問】日本全体で人口が減ることだが、特に中国地方では実際に人口を増やしている自治体が増えている。こうした対応も必要だと思うが、改めて町長の感想を伺う。

【町長】島根県邑南町は、子育て基金を10年間積み立て中長期的な視点の中で子育てに関

【質問】日本創生会議の報告書では2040年までに20歳から39歳までの若年女性が50%以上減少する市町村が全国で896自治体、全体の49.8%という推計が発表され、マスコミも全国の半分の市町村が消滅可能性ありと報じた。我が町もこうした消滅する可能性がある自治体とされたが、町長の感想を伺う。

【町長】日本創生会議人口問題検討分科会が提言する2つの基本目標のうち、

①「2015年までに

合計特殊出生率を1.8とする」ことについて、当町は平成23年は1.45、24年は1.65といずれも県（23年1.41、24年1.44）を上回っているが希望出生率の1.82には届いておらず、子育て日本一の町づくりを更に続けていく必要を感じている。町の将来を担う人材である子どもたちを安心して育てられる町づくりは町政の重要施策である。27年度は常設保育園3施設、幼稚園、へき地保育園それぞれ1施設体制に加え

放課後児童クラブの施設整備の準備を進めていく。

②「地方から大都市への人の流れを変える」ことについては、町外流出人口を少なくするための子育て環境の充実と、企業誘致活動を行っている。住居希望者が情報を得られるシステムづくりと住宅の確保等も必要であり、加えて町を離れてもその後生まれ育った町に戻って子育てし、住み続けられるような町づくりが重要と考える。綿々と積み重ねてきた

人口増の成功事例も参考に
子育て日本一の町をめざす



古舘機智男 議員

問

人口減少問題の所感 対策への決意を伺う

答

人口増の成功事例も参考に
子育て日本一の町をめざす

そのほかの質問

問	マイマイが大発生への事前対策は
答	大発生周期は10年とも言われ、対策にはふ化する前の卵を駆除し、地中に埋める、焼却するなどが効果的である。広報やテレビ等で町民への対策の周知を図っていく。
問	広島土石流災害から学ぶ防災対策は
答	町地域防災計画の見直しと避難勧告等の発令基準を策定した。今後ハザードマップの見直し、県指定37か所の土砂災害警戒区域の周知徹底等危機管理体制を強化する。



細谷地多門 議員

問

将来の軽米町を背負う
若手後継者に支援策を

答

特徴を生かした地域活動や
自主的事業を積極的に支援

【質問】旧笹渡小中学校校庭を会場に8月のお盆時期に開催されたモーモーフェスティバルは、畜産農家の若手後継者が企画し町内外の交流、畜産への理解、町のPRを目的に実施され、好天に恵まれ大賑わいであった。今回のイベントをどう評価しているか、また行政としてこうした若者に望むことを伺う。また初めての企画で、様々な課題もあり克服しながら次に向けて取り組んでもらいたい。次回も開催できるような支援策について伺う。



旧笹渡小中学校校庭を会場に今年初めて開催されたモーモーフェスティバル2014（平成26年8月）

【町長】本イベントは地域住民、町内外との交流の拡大、地域の情報発信を通じた活性化を目的に大々的に開催され、多くの来場者で大盛況だったと聞いている。関係者の皆さんに対して心から敬意と感謝を申し上げる。全国的に人口減少傾向が続く中、地域集落がコミュニティの維持、活性化をどう図っていくかは大きな課題であり、解決には地域で普段から気軽に話し合い課題を共有し歴史や文化、産業を把握するな

【町長】各地域の特徴を積極的に生かしてもらえるよう地域活動支援事業費補助金制度等の充実を検討し、また県、国の様々な支援制度等も研究しながらしっかりと支援して参りたい。

問	町の交通安全対策の取り組み状況は
答	町交対協、二戸警察署など関係団体と連携し交通安全運動での啓発活動に取り組むほか、特に飲酒運転根絶等重点5項目への取り組みと、町民個々の意識改革を図って参る。

ことば解説
モーモーフェスティバル2014夏
町内で畜産業に携わる20〜30歳の若者で設立したモーモークラブ（向屋敷和人代表）が企画し、今年初めて開催した。お盆の帰省時期にイベントをと、旧笹渡小中学校校庭を会場に利用し、軽米牛の販売、焼き肉の振舞い、乳搾り体験、花火打ち上げなどを実施した。

その他の質問

【質問】①東日本大震災で原発事故が起きた。将来的に原発の廃止は当然の摂理で、これに代わるのは再生可能エネルギーである。こうした中、当町にも九州以外では初めて、国内で3例目となる鶏糞バイオマス発電施設と、メガソーラー発電施設の整備が計画されているが、これらの進捗状況を伺う。

【町長】①鶏糞バイオマス発電施設は、経済産業省の発電・設備認定と東北電力の系統連系承諾を受け、平成28年5月に本格稼働の予定となっている。メガソーラー事業は小軽米、山内、高家の各地区に計画。小軽米地区はいずれも雪谷川ダムの周辺で、一つは、27年8月に本格稼働を予定。もう一つは東北電力との技術協議が終了し、現在埋蔵文化財調査を行っている。本格稼働は32年9月ごろ。

【再質問】鶏糞バイオマス発電は非常に期待されるが、稼働予定が当初の27年10月から遅れたのはなぜか。

【総務課長】晴山地区を通る高圧線の使用については東北電力と協議みだが、高圧線につなぐまでの土地所有者との協議や、小軽米地区は新たに高圧線の布設が必要なおもあり遅れているようだ。

【再々質問】鶏糞バイオマス発電施設の予定地域から高圧電線までの距離と新たに予定する鉄塔の数は。

【総務課長】距離が約500m、新規鉄塔3基が予定されている。

ことば解説

メガソーラー
発電出力が1メガワット（1111キロワット）を超える大規模太陽光発電所の総称。数万枚の太陽電池モジュールを配置し一般家庭数百軒分の消費電力を生産する。再生可能エネルギー特別措置法に基づき平成24年7月から導入された固定価格買い取り制度（再生可能エネルギーの発電電力を国が定める価格で一定期間、電気事業者が買い取ることを義務づけ）により建設が広まる。買い取りに要する費用は電気料金に上乗せされる。

問

鶏糞発電とメガソーラー
事業進捗状況はいかに

答

鶏糞発電は28年稼働予定
メガソーラーは小軽米、山内、高家で計画が進行



泉山 優 議員

【町長】②建設計画の遅れを感じるが、町長はじめ町の支援体制と今後の対応について伺う。

【再質問】鶏糞バイオマス発電は非常に期待されるが、稼働予定が当初の27年10月から遅れたのはなぜか。

【総務課長】晴山地区を通る高圧線の使用については東北電力と協議みだが、高圧線につなぐまでの土地所有者との協議や、小軽米地区は新たに高圧線の布設が必要なおもあり遅れているようだ。

施設区分	計画地区	事業面積 (ha=㌖)	発電規模 (MW=㌦㌦)	進捗（○終了、△協議中）			本格稼働 予定時期
				地権者	経済産業省	東北電力	
鶏糞発電	晴山	4.3 ha	6.25 MW	○	○	○	平成28年5月
	小軽米	5 ha	2.0 MW	○	○	○	平成27年8月
	米田	156 ha	43.0 MW	○	○	○	平成32年9月
	山内（東）	185 ha	78.0 MW	○	○	△	平成29年10月
	山内（西）	115 ha	47.5 MW	○	○	△	平成31年10月
太陽光発電（メガソーラー）	高家	230 ha	40.0 MW	△	△	△	平成35年11月

事業計画状況一覧
（平成26年10月8日現在）



茶屋 隆 議員

問

答

**ふるさと納税使途を具体的に
お礼品も見直し実績拡大を
使途を分かり易くお礼品も見直す
首都圏民と交流し寄付拡大に努力**

ことば解説

合法的に検討する。

③国はふるさと納税控除額を増増する方向で検討していると聞く。

これまで町では純粋なお礼品として600円相当の雑穀商品をお返ししてきたが、趣向を凝らした人気のあるお礼品が寄付金額の実績増につながる事例もあり、この潮流を逃すことなく町の活性化が図られるよう見直すこととして本定例会に補正予算案を提案している。

また首都圏消費者との交流や在京軽米会などを通じたPR活動やメニューの拡大など

【町長】①25年度実績は12件80万円である。

②20年度からの寄附金全てを基金に積み立てており25年度末で308万3千円である。使途や事業が具体的に分からない点はそれとおり。寄附いただいた皆様に事業の具体例を示すことができるよう総合的に検討する。

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

ふるさと納税

寄付先の地方公共団体（県・市町村）に限らず、年間2千円以上寄付した場合2千円を超える部分について一定の限度額まで所得税と住民税が減額される制度で、2008年に始まる。なお、減税の上限額は収入や家族構成などにより異なる。

Youtube（ユーチューブ）2005年設立の米国の企業が提供する、音声付きの動画をインターネット上で自由に投稿・閲覧ができる動画共有サービス。

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

【再々質問】検討ではなく、すぐ実行し課題を解決していくことも必要。また軽米テレビと連携し町の情報をYoutube（ユーチューブ）を使って情報発信

【町長】ご提言は十分検討させていただきます。

ふるさと納税

寄付先の地方公共団体（県・市町村）に限らず、年間2千円以上寄付した場合2千円を超える部分について一定の限度額まで所得税と住民税が減額される制度で、2008年に始まる。なお、減税の上限額は収入や家族構成などにより異なる。

Youtube（ユーチューブ）2005年設立の米国の企業が提供する、音声付きの動画をインターネット上で自由に投稿・閲覧ができる動画共有サービス。

ふるさと納税

寄付先の地方公共団体（県・市町村）に限らず、年間2千円以上寄付した場合2千円を超える部分について一定の限度額まで所得税と住民税が減額される制度で、2008年に始まる。なお、減税の上限額は収入や家族構成などにより異なる。

Youtube（ユーチューブ）2005年設立の米国の企業が提供する、音声付きの動画をインターネット上で自由に投稿・閲覧ができる動画共有サービス。

ふるさと納税

寄付先の地方公共団体（県・市町村）に限らず、年間2千円以上寄付した場合2千円を超える部分について一定の限度額まで所得税と住民税が減額される制度で、2008年に始まる。なお、減税の上限額は収入や家族構成などにより異なる。

Youtube（ユーチューブ）2005年設立の米国の企業が提供する、音声付きの動画をインターネット上で自由に投稿・閲覧ができる動画共有サービス。

ふるさと納税

寄付先の地方公共団体（県・市町村）に限らず、年間2千円以上寄付した場合2千円を超える部分について一定の限度額まで所得税と住民税が減額される制度で、2008年に始まる。なお、減税の上限額は収入や家族構成などにより異なる。

Youtube（ユーチューブ）2005年設立の米国の企業が提供する、音声付きの動画をインターネット上で自由に投稿・閲覧ができる動画共有サービス。

ふるさと納税

寄付先の地方公共団体（県・市町村）に限らず、年間2千円以上寄付した場合2千円を超える部分について一定の限度額まで所得税と住民税が減額される制度で、2008年に始まる。なお、減税の上限額は収入や家族構成などにより異なる。

Youtube（ユーチューブ）2005年設立の米国の企業が提供する、音声付きの動画をインターネット上で自由に投稿・閲覧ができる動画共有サービス。

ふるさと納税

寄付先の地方公共団体（県・市町村）に限らず、年間2千円以上寄付した場合2千円を超える部分について一定の限度額まで所得税と住民税が減額される制度で、2008年に始まる。なお、減税の上限額は収入や家族構成などにより異なる。

Youtube（ユーチューブ）2005年設立の米国の企業が提供する、音声付きの動画をインターネット上で自由に投稿・閲覧ができる動画共有サービス。

ふるさと納税



山本幸男 議員

問

答

**未評価問題のその後は
朝礼唱和を別の手法に**

**新行動指針を策定し
9月中に公表を予定
唱和は見直しを検討**

【質問】固定資産税の未評価問題のその後に、①当初5月に予定した再発防止の検討結果の公表が、6月の時点で遅れているとのことだった。その後の状況が町ホームページや町広報でも見受けられない。どんな形で公表したか、又はまた

めを行ったかどうかを伺う。併せて、新たに策定した「軽米町コンプライアンス等行動指針」のまとめ方と実践について説明願う。

【総務課長】①昨年10月に第三者委員による軽米町職員不祥事対策防止検討会議を設置し、不祥事発生の実態関係や職場実態の検証、課題の抽出、再発防止対策などを検討し、事務処理マニュアルの作成、情報の共有化など11項目の提言をいただき、庁舎内では全職員アンケート調査、ワーキング会議等により具体的計画を検討してきた。行動指針は広報かるまい9月号で、町ホームページは9月中に公表予定。6

【再質問】①町民憲章等の唱和を行っているようだが、覇気が感じられない。見直しなど検討してはどうか。

【町長】朝の唱和は止めるのではなく、変える方向で検討したい。

お盆近くは夏まつり等が開催され賑わっている。秋まつりは伝統的行事で学校等関係団体等との調整も必要で慎重に考えていきたい。

町議会の動き

(平成26年7月～9月の主要な行事)

月	日	曜	行 事 名
7月	1	火	町議会町政調査会幹事会
	2	水	議員の定数等調査特別委員会②
			町議会全員協議会
			町議会町政調査会
			議会報編集委員会
	14	月	北部地区町村議会議員研修会・情報交換会（鹿角市、二戸市）
	15	火	臨時会議会運営委員会
			第31回軽米町議会臨時会
	17	木	議員の定数等調査特別委員会幹事会②
			議会報編集委員会
8月	19	土	県立軽米病院環境整備ボランティア活動
	23	水	カシオペア連邦議会議員協議会総会（二戸市）
	29	火	臨時会議会運営委員会
			県立軽米病院総務大臣表彰受賞祝賀会
	31	木	第32回軽米町議会臨時会
			議員の定数等調査特別委員会幹事会③
9月	6	水	市町村要望
			町村議会議員夏季大学講座（盛岡市、～7日）
			議員の定数等調査特別委員会③〔勉強会〕
			軽米町成人式
	20	水	二戸広域行政事務組合議会臨時会（二戸市）
	21	木	中央研修会・県選出国議員との懇談会（東京都、～22日）
9月	25	月	議員の定数等調査特別委員会幹事会④
	26	火	市町村重点要望
			定例会議会運営委員会
	2	火	第33回軽米町議会定例会（～12日）
			議員の定数等調査特別委員会④
	4	木	町議会全員協議会
			定例会議会運営委員会
	5	金	定例会議会運営委員会
	8	月	定例会議会運営委員会
			総務教育民生常任委員会
9月	11	木	定例会議会運営委員会
	12	金	町議会町政調査会
			町議会全員協議会
	13	土	軽米秋まつり（～15日）
			軽米町敬老会
	14	日	軽米町消防演習
	23	火	町民と議員との交流パークゴルフはつらつ大会

・平成26年9月18日付
・義援金5万円

町議会と町政調査会では、本年8月19日からの大雨等により広島県広島市において発生した大雨災害により被災された方の生活再建にと、日本赤十字社岩手県支部軽米町分会軽米町社会（町福祉協議会）を通じて義援金をお送りしました。

広島大雨災害被災者支援に義援金

※議長交際費は議長が町議会を代表して対外的な行事等へ参加する際の経費で主に各団体の総会等の会費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。

※お祝い等（会費含む）
7月4件 1万1千6円
8月2件 6千円
9月3件 1万円

議長交際費

町議会 & 町の話題

ピックアップトピックス



軽米病院周辺の環境整備

町民皆の軽米病院に環境整備に感謝の汗

町政調査会（川原木賢一会長）は7月19日、県立軽米病院（横島孝雄院長）の駐車場周辺の環境整備ボランティア活動を行いました。昨年度に続いての実施で、町の中核となる医療機関として皆さんが利用しやすい環境づくりの一助になればと、町議会議員全員が木々の枝払いや下刈り作業を実践。町シルバー人材センター（菅原皓文理事長）からも約50名の皆さんが駆けつけ、庭木の剪定や高所作業などの作業にあたりました。

横島院長は「とてもありがたい活動で、病院を訪れる方、私たち職員もたいへん喜んでいて。町民の皆さんに支えてもらっていることに感謝しています」と激励いただきました。



二戸地区広域行政事務組合議会臨時会（平成26年度第2回、松浦求議長、本田秀一議員出席）
※8月20日（水）
※二戸地区衛生センター
※付議事件
①消防本部併設二戸消防署建設事業建築工事の変更請負契約の締結について
※全会一致で可決



4人一組（一部3人組もあり）で4コース36ホールにわたり緑の芝生の上でのプレーを楽しみました

第2回パークゴルフはつらつ大会 ブロック別上位表彰者（敬称略）

ブロック別	順位	氏名	スコア（※）
一般の部	A （いちい組）	優勝 中野 光廣	93
		2位 須藤 昭夫	93
		3位 日影 マサ	93
	B （こぶし組）	優勝 川原木キヌ	103
		2位 田中 佳子	103
		3位 松浦 常雄	104
	C （赤とんぼ組）	優勝 工藤 幸男	115
		2位 小林キヨシ	115
		3位 栃木 一男	116
若葉の部	D （パンダ組）	優勝 戸井口勝見	108
		2位 藤田 イサ	110
		3位 田代テイ子	115
	E （バンビ組）	優勝 横島 孝雄	135
		2位 田中 トヨ	136
		3位 和山 吉広	138

（※）女性はハンデとして5打を差し引いた後のもの
（※）上位3名が同スコアの場合にはプレーオフにより順位を決定

楽しみいっぱいのパークゴルフ大会 和やかに参加者相互の親交を深める

町政調査会主催のパークゴルフはつらつ大会

町議会町政調査会（川原木賢一会長、会員14人）主催の「パークゴルフはつらつ大会」が9月23日にハートフルパークゴルフ場で開催されました。昨年度に続き2回目の開催で、今大会は町内外から121名が参加。初心者の方も楽しめるようにと表彰ブロックを初心者「若葉」と「一般」とに分け、一般の部3組、若葉の部2組に分かれて



同点プレーオフでAブロック優勝を獲得した中野光廣さん

それぞれ5つの優勝枠を競い合いました。表彰は、各ブロック上位3賞に賞状と副賞が贈られたほか、各ブロック5位毎に設けた「とび賞」、ホールインワン賞に加え、前回大会の個人成績に比較してスコアが伸びた方を

対象に「伸びた賞」（上位5名程度）を新設するなど、参加者には楽しみの多い大会となりました。参加者からは「次回も開催してほしい」など、交流深まる大会に早くも次への期待の声がかかれています。

町議会を傍聴しませんか



町民の皆さんの生活に直結した問題や案件が審議されている町議会は、どなたでもご覧いただくことができます。

町政について知識を深め身近に感じていただくためにも、ぜひ町議会の傍聴をお奨めします。

町議会定例会（本会議）の様子は「かるまいテレビ」でもご覧いただけます

「かるまいテレビ」では、本会議場（招集日、一般質問、最終本会議など）の様子を録画・編集し、定例会終了後、約2週間程度の期間で放送しています。

すので、決まり次第町ホームページや「かるまいテレビ」、情報無線放送でお知らせしています。詳しくは、町議会事務局（☎46・4745）までお問い合わせください。

未来に残したい軽米の風景⑩

長倉大橋から見下ろす紅葉大パノラマ



四季折々の表情を映し出す町内の中でもひと際壮大なスケールで変化を見せる「長倉大橋」周辺の山々。雪谷川の青々とした流れとは対照的に、緑や赤、黄、橙など文字通り山吹（ヤマブキ）色に輝いていました。〈10月下旬〉

【左】長倉大橋から上流域（折爪岳が遠くに見えます）

【下】長倉大橋から下流域（雪谷川と美しい渓谷美）



編集後記

平成26年9月の町議会定例会は、話題も豊富で変化に富んだ議会であった。

一般質問に登壇した議員は8名。その質問に答える形で山本町長は次期町長選挙への出馬を表明。また2年連続で一般会計が不認定。軽米町議会の議員定数等調査特別委員会での採決が同数により、委員長長の決断で決したこと。さらに最終本会議においても賛成と反対の討論が数多くあり、とても活発な9月定例会であったと思う。

同じく9月、2回目となる町民と議員との交流パークゴルフ大会が開催された。綺麗な芝生の上でのプレー。成績はともかく膝がガクガク、腰が病めるのも治ったかもしれません。良き一日、私もゴルフの気分でした。

議会報編集委員 山本幸男

かるまい
議会だより

発行日 平成26年11月5日発行 (No. 199)
発行 軽米町議会
編集 議会報編集委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集委員会

委員長	松浦 満雄
副委員長	茶屋 隆久
委員	館坂 久人
委員	山本 幸男
委員	本田 秀一
委員	中村 光夫